

2005. 10月号

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・新理事長に望月薫雄氏が就任 P 1
- ・平成17年度「高知駅拠点街区開発アイデア募集」説明会開催報告 P 2～3
- ・財団の活動状況 P 4
- ・品川新拠点研究会(Ⅱ)設立総会開催 P 5
- ・千葉大学の柘植研究室から当財団の品川新拠点研究会
メンバー宛に、学生の自由奔放なまちづくりの提案 P 6～7
- ・土地月間講演会「低・未利用地の有効活用促進方策を考える」開催のご案内 P 8
- ・「平成17年度調査研究報告会および会員情報交流会」開催のご案内 P 8

《ハイライト》

- ・平成17年度「高知駅拠点街区開発アイデア募集」説明会開催報告
- ・千葉大学の柘植研究室から当財団の品川新拠点研究会メンバー宛に、学生の自由奔放なまちづくりの提案

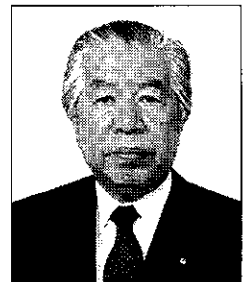
§ 新理事長に望月薫雄氏が就任

去る9月21日および同30日に当機構の評議員会および理事会が開催され、この度退任された松原理事長の後任として、前住宅金融公庫総裁の望月薫雄氏が選任され、10月1日付で就任されました。

松原前理事長には、平成15年4月以来2年半、創立20周年の節目をはさんでご就任され、機構の発展にご尽力いただきました。感謝を申し上げます。

以下、9月30日の理事会における望月新理事長の就任挨拶の要旨を掲載いたします。

なお、上記の評議員会においては、退任された田中正章理事の後任として、(独)都市再生機構理事の河崎広二理事が選任されました。



〔望月新理事長就任挨拶(要旨)〕

先ほどの理事会において松原理事長の後任として理事長に選任された望月でございます。

私は、国土交通省、当時の建設省を退官後住宅金融公庫の総裁を勤めてまいりましたが、この8月に退任いたしました。

本日付けをもって退任されます松原様は、平成15年4月に理事長に就任され、今日まで都市計画あるいはまちづくりに関する卓越した知識と豊富な経験によって都市みらい推進機構の業務運営にご尽力いただきました。敬意を表する次第です。

当機構は、今年で設立20周年を迎えましたが、この20年の間では少子・高齢化等経済・社会が大きく変化し、人々の価値観もますます多様化しています。また、今後の財政需要の増大等も大きな課題です。これらの流れの中であって、これからのまちづくりは、地域で生活する方々の様々な需要に的確に答えることが基本だと考えております。

私は、こうした要請に的確に答えられるような機構の運営に努力してまいり所存でございますので、役員の皆様をはじめ関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いして挨拶とさせていただきます。



§ 平成17年度「高知駅拠点街区開発アイデア募集」説明会開催報告

当財団では、高知市より委託を受け、高知駅周辺拠点街区地権者の情報交換を目的にまちづくり研究会等を平成12年度から定期的に行ってきました。

これまでは、拠点街区の地権者の方々からいただいた主題に応じて資料を収集・整理し同研究会に提供して参りましたが、まち開きを3年後に控えた今、開発事業者サイドから、現実的な観点でまちづくりのアイデアを募り、同研究会に提案してみてもどうかという考えに至りました。

そのような趣旨で、ご会員の皆様にアイデア募集を実施することになり、去る8月4日、当財団において「高知駅拠点街区開発アイデア募集」説明会を開催いたしました。

説明会当日は、大変ご多忙の中、また呼びかけ期間が短かったにも関わらず、7企業（10数名）のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

当説明会では、主に次の項目について、ご説明させていただくとともに、参加者からのご質問への回答などを行いました。

- ・ 高知駅周辺土地区画整理事業の進捗状況
- ・ 地権者へのヒアリング状況
- ・ 高知駅の高架化を含む連立立体交差事業進捗状況
- ・ 駅前広場検討委員会での検討状況
- ・ まちづくりの方向性（まちづくり八策案）の検討状況
- ・ 既存中心市街地（帯屋町）の現況及び課題
- ・ 高知市主催のアイデア募集を含む今後のスケジュール

その結果、いくつかの会員の皆様から、アイデアを提案していただき、またご検討中との連絡を受けているところであります。

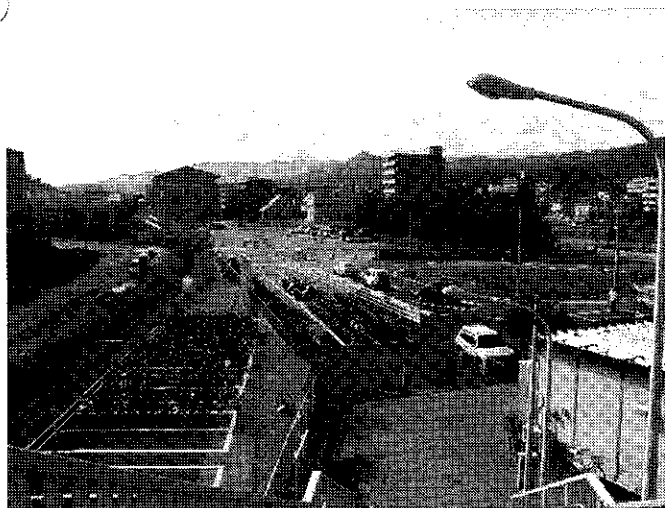
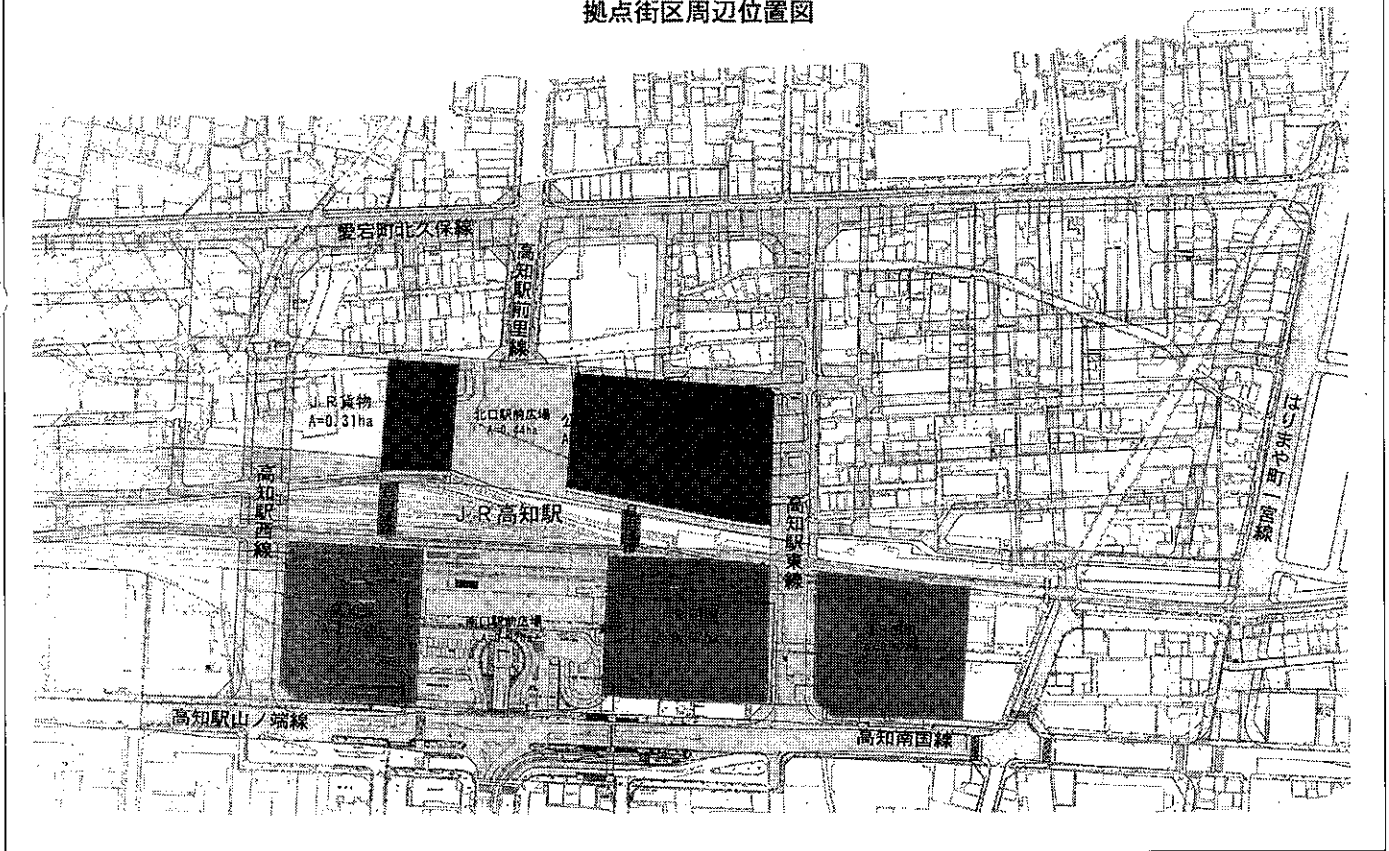
当財団におけるアイデア募集は、既に終了しておりますが、今後高知市主催で行われる予定のアイデア募集へは、ぜひご参加いただければと考えております。

平成17年度 アイデア募集 今後のスケジュール

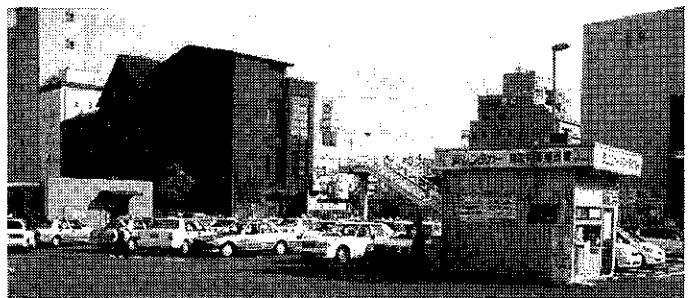
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 募集要項作成のための作業								
ー1 まちづくり八策案の調整	■							
ー2 将来像のイメージ合わせ		■						
ー3 アイデア募集要項素案についての協議	■	■						
	事例研究	募集要項案の作成						
ー4 アイデア募集要項の作成				■				
				印刷・プレスリリース				
ー5 運営、とりまとめ					■	■	■	■
					公募、エントリー、質疑応答、応募	締め切り	とりまとめ	



高知広域都市計画事業高知駅周辺土地地区画整理事業
拠点街区周辺位置図



高知駅周辺





§ 財団の活動状況

日	9月	日	10月
1	品川新拠点研究会(Ⅱ) 環境・情報WG準備会開催(第1回)	1	土地活用モデル大賞 現地調査
2	土地活用モデル大賞(財)計量計画研究所打合せ	3	土地活用モデル大賞 審査委員会事前打合せ@国交省
2	東久留米市地域産業振興会議分科会	4	品川新拠点整備研究会 会議
2	第2回プロジェクト説明会 「名古屋港イタリア村他」	4	東久留米市地域産業振興会議 農業ビジネスWG
7	東京工科大学と意見交換	5	まちづくり交付金ケーススタディーヒアリング@国交省
7	品川新拠点研究会(Ⅱ) 地域マネジメントWG準備会開催(第1回)	6	土地活用モデル大賞 第3回審査委員会
8	土地活用モデル大賞 第2回審査委員会	6	東久留米地域産業振興委員会(第3回)
8	千葉県県土整備部と意見交換	6	土地利用の動向を踏まえた新たな地域社会の 構築に資する土地利用施策のあり方に関する 調査研究(小野市モデル調査連絡会議)
8	品川新拠点研究会(Ⅱ) 千客万来WG準備会開催(第1回)	7	機関誌「都・市・み・ら・い」(第53号)編集委員会
9	土地利用の動向を踏まえた新たな地域社会の 構築に資する土地利用施策のあり方に関する 調査研究(個別モデル調査合同説明会)	7	富津市 青堀駅前整備打合せ
12	機関誌「都・市・み・ら・い」(第53号)検討会議	11	*品川新拠点研究会(Ⅱ)設立総会
13	富津市打合せ	12	首都圏新都市鉄道 沿線視察
16	品川新拠点研究会(Ⅱ) 環境・情報WG準備会開催(第2回)	13	東久留米市地域産業振興会議 魅力発信WG
16	品川新拠点研究会(Ⅱ) 地域マネジメントWG準備会開催(第2回)	13	*高知駅周辺拠点街区に関する地権者打合せ会
16-30	土地活用モデル大賞現地調査	17	敦賀駅周辺整備展望研究会
21	*第24回評議員会	20	鹿児島市まちづくり交付金活用事業調査 第3回ワークショップ
27	関西プロジェクト関連で意見交換(大阪市他)	24	敦賀駅周辺整備構想策定委員会
28	鹿児島市まちづくり交付金活用事業調査 第2回ワークショップ	25	第7回普天間飛行場跡地利用基本方針検討委員会
30	*第39回臨時理事会	26	*土地月間講演会
		27	土地活用モデル大賞 表彰式
		28	仙台長町施設立地研究会

【財団関係諸団体】

*印のある項目については、他ページに解説があります。

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

2	第2回プロジェクト説明会「名古屋港イタリア村他」(共催)	4	第2回「環境負荷の小さなIT化都市研究会」
6	公民情報交流会		
29	セミナー「岐阜市における福祉のまちづくり」(共催)		

《地方の拠点まちづくり協議会》

2	第2回プロジェクト説明会「名古屋港イタリア村他」(共催)	31	運営会議
6	公民情報交流会(共催)		
16	運営会議		
29	セミナー「岐阜市における福祉のまちづくり」		

《都市地下空間活用研究会》

2	企画運営小委員会	6	中心市街地と地下ネットワークのあり方分科会幹事会
6	大阪分科会	7	事業部会
14	第1回地下交通ネットワーク整備制度研究分科会	7	第22回 定例懇話会
		12	地下交通ネットワーク整備制度研究分科会コアメンバー会議

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

6	公民情報交換会(共催)	25	論文審査委員会
9	18年度都市・地域整備局予算の概算要求概要	31	技術交流部会
14	技術交流部会WG打合せ会(第1回)	31	第12回交流展示会出展者打合せ会
29	セミナー「岐阜市における福祉のまちづくり」(共催)		



§ 品川新拠点研究会(Ⅱ)設立総会開催

民間提言型のまちづくりが時代の要請として求められて来ている流れを先取りする形で、平成13年3月に、芝浦下水処理場(現:芝浦水再生センター)の上部空間を有効に活用して、品川周辺を国内外から評価されるような個性ある魅力的なまちづくりに育成しようとの趣旨で、財団会員主導による自主研究会として設置した「芝浦港南エリア研究会」は、その後、品川新拠点研究会として発展。先般の研究会提言が関係者から高い評価を得たのを受け、提案内容の更なる充実を図るため、体制を再構築して「品川新拠点研究会(Ⅱ)」を新たに発足させました。

10月11日に開催した設立総会には外部関係者を含め60人弱の参加者が集い、会場は熱気に包まれました。

東京都都市整備局都市づくり政策部の妹尾開発推進担当課長から、「品川周辺における今後のまちづくりの進め方について」と題して行政側の取組方針が紹介された後、事務局から設立趣意書をもとに活動方針を説明。各WGの代表幹事からもそれぞれの活動方針についての説明がありました。

【検討内容】・都市像のイメージ化と具体的実現化方策検討

品川新拠点研究会(Ⅱ)では、サプライヤー側(都市施設建設サイド)から発した「品川新拠点研究会の都市再構築構想」をダイヤモンド側(都市施設経営サイド)に示し、積極的な意見交換を通じて、リアリティのある実現化方策を検討。

(1)品川新拠点地区への期待像整理

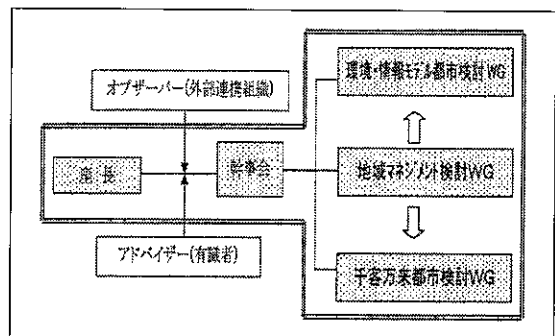
- ◇千客万来都市のイメージ化
- ◇環境・情報モデル都市のイメージ化

(2)品川新拠点に期待する国家的役割整理

- ◇全国観光拠点地域との連携をイメージ化
- ◇産業政策・環境政策・情報政策との連携をイメージ化

(3)事業化に向けてのシナリオ整理

- ◇機能配置(集客、環境、情報)および導入手順を検討
- ◇機能毎の事業主体および地区マネージメントシステムを検討
- ◇新たな機能を支える都市基盤のあり方および整備手順を検討



□研究会メンバー(財団会員)	
ゼネコン・デベ	13社
設計・コンサル	15社
情報・エネルギー	7社
その他	5社
合計	40社
□研究期間 2005.10~2007.6	



§ 千葉大学の柘植研究室から当財団の品川新拠点研究会 メンバー宛に、学生の自由奔放なまちづくりの提案

都市みらい推進機構より品川新拠点研究会のお話をいただき、千葉大学工学部都市環境システム学科の柘植研究室と、柘植が教える多摩美術大学環境デザイン学科では、学生の自由な発想で品川の未来を構想した。規制緩和を見据えた企画、Place Making による空間デザイン、映画やアニメなど枠組みを超えた表現手法により7提案をまとめ、同機構の方々に発表を行った。この提案は研究室がここ数年取り組む、豊洲埠頭臨海副都心の延長として広域東京湾未来構想の一環として構想した。ここではその成果の一部を紹介する。社会経験が少ない学生の提案は未熟である一方で都市の未来像を探るという意味において多に可能性を秘めている。提案の詳細は <http://tsuge-lab.tu.chiba-u.jp/> を参照していただければ幸いである。

柘植 喜治

■ 千葉大学大学院 自然科学研究科 都市環境システム専攻 柘植研究室
<http://tsuge-lab.tu.chiba-u.jp/>

- Project

CONCEPT

- 品川を世界にデビューさせ、品川スタイルをつくる。
- かっこいい都市のとり方を提案する。

水路と既存線路の利用により結ばれた「品川の3地区に対する提案」と、「品川の30年後へ向けた段階開発の提案」によって、品川にパラダイムシフトを起こし、これまでにない品川の新しい価値基準を形作る。

Eco City shinagawa

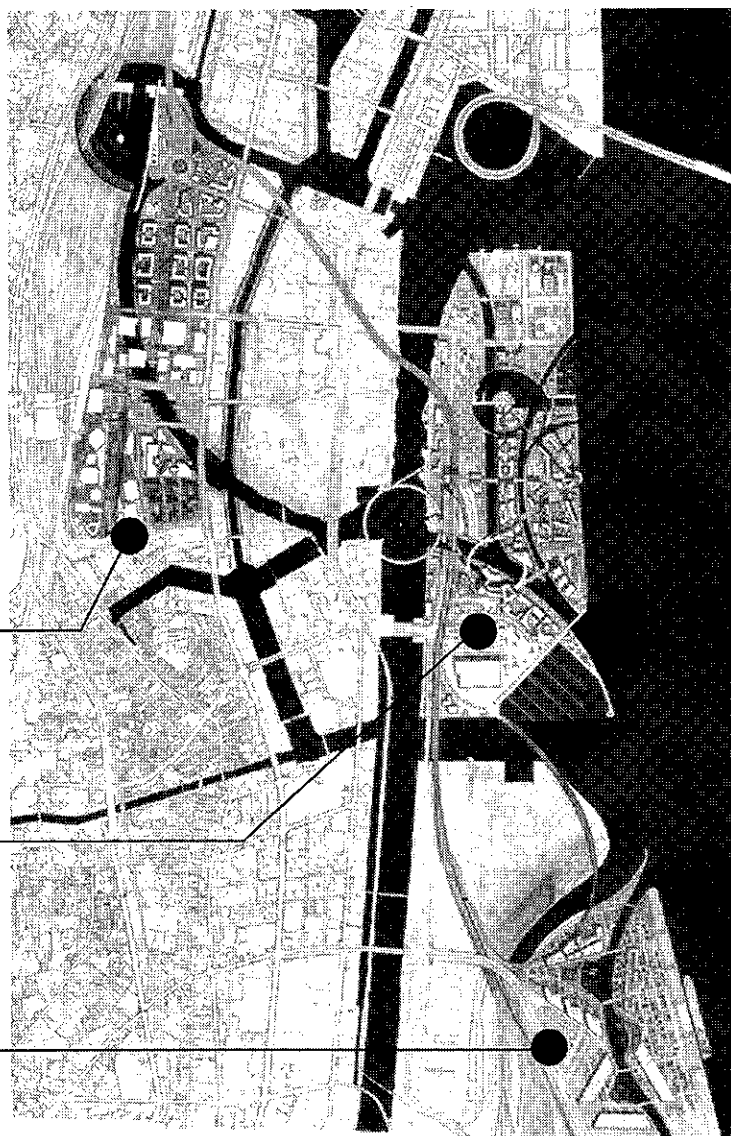
品川新駅地区

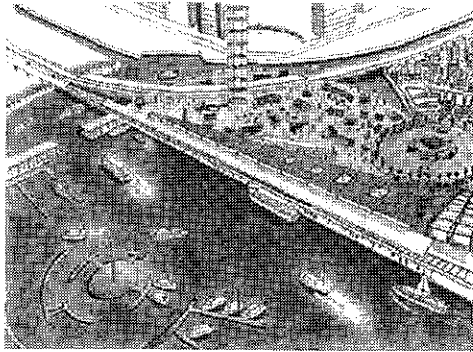
Water Front

品川埠頭地区

Container City

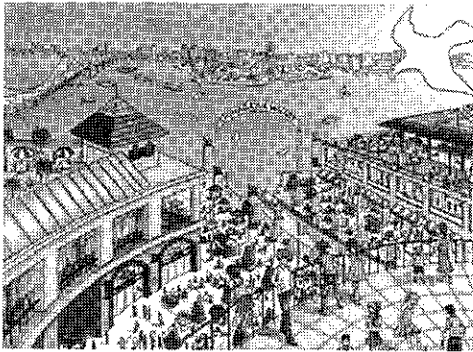
大井埠頭地区





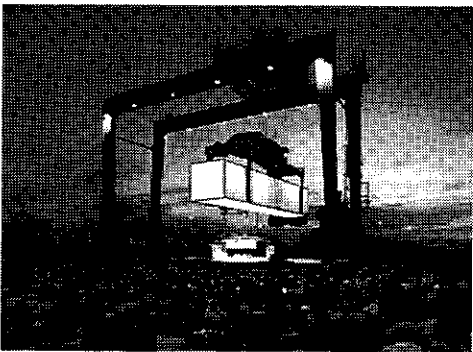
Eco City shinagawa 品川新駅地区

品川、田町間に新たな駅が誕生する。この新駅は、現在の下水処理場北西部辺りに想定され、電車と船へのモーダルシフトを容易に行えるよう計画がされている。先に触れたが、新駅近くには下水処理場がある。この施設は、広大な土地と下水集約という都市の宝を持っている。そこで、私たちは、「もうかる下水」を念頭にバイオマス、投資、企業、不動産、格付け、環境の5つをキーワードとして抽出し、企業が、投資や支援などで「環境」を重要な経営資源とし事業拡大を図れる下水バイオマスを活用したモデル都市として不動産価値を高められる未来の品川を計画した。



Water Front 品川埠頭地区

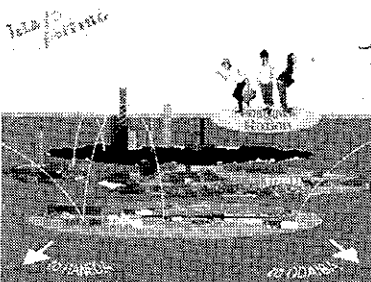
物流の機能が移転し大型開発が可能となった品川埠頭で、東京港内を運行する小型船の停泊拠点としてのクルーズシップハーバーを設置し、東京港内の水運の流れを活性化させる。それによって豊洲埠頭に移転予定である市場の新鮮な食料の供給、臨海副都心の大衆文化の観光客の循環、品川のビジネスマンのアフターファイブのバリエーション、物流を活かしたシステムといったものが生まれる。このように水運の活用と水辺の魅力を引き出し、近隣の地域それぞれのキャラクターを活かし一体的に計画することで、品川埠頭を住む人・働く人・訪れる人の憩いの場とする提案を行った。



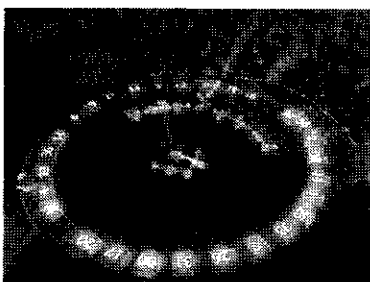
Container City 大井埠頭地区

品川を中心にマクロの物流を捉え、品川新駅誕生によって生まれる新しい人の流れなどを考慮しながら、既存物流を活かして物が集まるだけでなく新しい文化を発信する都市空間として提案する。そこではアーティストやフードコーディネータたちの活動の場として、SOHO、アトリエ、ギャラリー、レストランなどいろいろな展開を広げていく。コンテナ埠頭である大井の場所性とコンテナの仮設的なイメージを活かし、暫定的な土地の利用を繰り返しながらこの地で活動する人たちによって徐々に都市と文化が形成されるという新しい都市のあり方を作り上げるのが目的である。

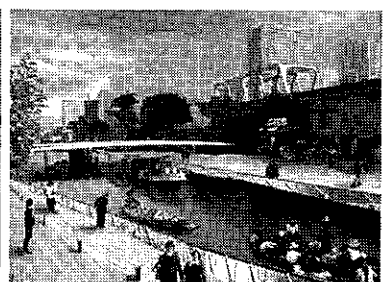
■ 多摩美術大学 環境デザイン学科
<http://www.tamabi.ac.jp/kankyuu/>



island city Shinagawa



『大人解放区』品川



一日二品



§ 土地月間講演会『低・未利用地の有効活用促進方策を考える』開催のご案内

経済社会の再活性化に向けて様々な取組がなされる中で、低・未利用地の活用促進が一つの大きな役割を果たすと期待されています。

国立社会保障・人口問題研究所のデータによれば、我が国の人口は平成18年にピークを迎え、それ以降は減少の時代に入ると予想されています。また、最近の公示地価によれば、大都市の一部に上昇の動きが見られはじめたものの、地方においては依然として、低下傾向が見られます。

また、産業構造においても、生産工場が海外に移転するなど土地を広く利用する生産施設等の需要は今後とも減少していくものと考えられています。

このような状況の中、当機構においては、「土地月間」の機会に合わせ、国際的視野から見た最近の土地投資の現状と課題、および国内の土地活用等土地を巡る動きについて識者のご講演を賜るとともに、当面の我が国の土地施策等について関係者のご報告を賜る次第です。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成17年10月26日(水)

14：00～17：00（開場：13：30）

会 場：日本消防会館ニッショーホール（定員144名）

（東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL03-3503-1486）

内 容：状況報告●「国土交通省の土地活用に対する支援について（平成18年度概算要求）」

大坂 正 氏（国土交通省土地・水資源局土地情報課長）

●「都市再生機構の土地活用（実績と今後の方向）」

内田 俊彦 氏（独）都市再生機構 業務第一部土地有効利用推進室長）

●「平成17年度土地活用モデル大賞（国土交通大臣賞）の内容紹介」

国土交通大臣賞受賞者（10月6日の選考委員会で選考の予定）

講演「人口減少時代における低・未利用地の有効活用方策を考える」

●「不動産の金融商品化と国土のあり方」

川口 有一郎 氏（早稲田大学大学院 教授）

●「時代は変わった」～地域の賑わい作り

北山 孝 氏（北山創造研究所 代表）

主 催：（財）都市みらい推進機構

後援予定：国土交通省、（独）都市再生機構ほか

お問い合わせ 03-5976-5860 企画調整部

§ 「平成17年度調査研究報告会および会員情報交流会」開催のご案内

標記 報告会兼交流会は、会員の皆様方に当財団の活動状況をご報告申し上げ、またご参加頂いた皆様方から色々なご意見を賜り今後の財団活動に生かして行きたいと考えて、年一回開催しているものです。

日 時：平成17年11月21日（月）

14：00～ 調査研究報告会 17：15～ 会員情報交流会

会 場：マツヤサロン グレースルーム（平河町全共連ビル）

交流会には、国土交通省都市・地域整備局の幹部の方にもご出席頂いております。こうした場で、公民による自由な意見交換ができれば幸いとと考えております。

お問い合わせ 03-5976-5860 企画調整部

（財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2

アベニュー音羽3階

電話 03-5976-5860

FAX 03-5976-5858

Email kikaku@toshimirai.or.jp

当財団は、1985年7月に公民連携支援母体として建設省《国土交通省》により設立された都市開発支援財団です。200弱の自治体・民間企業・公益法人に会員としてご支援頂いております。

シンクタンク機能からプロデュース機能の拡充を図ってきております。

◇都市拠点開発・都市再生支援

◇中心市街地活性化支援

◇低未利用地有効活用支援 他

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.or.jp/>